

雲南病院だより

夕涼みコンサート

8月29日(水)、患者さんや患者さんのご家族に楽しいひとときを過ごしていただくこと、正面玄関エントランスホールでコンサートを開催しました。

今回は、雲南市出身のシンガーソングライター「さん」さんと当院の「サウスクラウドアンサンブル」とのコラボ企画で行いました。

「さん」さんは雲南市出身でアコースティックギター



シンガーソングライター「さん」さん



サウスクラウドアンサンブルと合唱

で、オリジナル曲の制作・弾き語りライブを行うっており、ライブハウスやイベントへの出演のほか、FMいずものラジオ番組でパーソナリティーを務めるなど、出雲市を中心に県内外で活躍されています。

一気にかみみました。その後、昨年、JR木次線の全線開通80周年に合わせて「さん」さんが作詞・作曲された、木次線のイメージソング「pop pop pop」を歌いました。会場からも自然と拍手が出て、会場内がギターと歌声で心地よく響き渡りました。

その後、「サウスクラウドアンサンブル」と一緒に、「手紙」を歌いました。紙を拝啓「十五の君へ」を歌い、最後は会場内全員で「ふるさと」を歌いました。「病院内でこんなコンサートが開催されるのはすごく良いので、また開催してほしい」という患者さんもありました。当院では年に数回、患者さんとご家族のためのコンサートを開催しています。

医療体験セミナー

中学生医療現場体験セミナー

8月21日(火)に中学生を対象とした医療現場体験セミナーを行いました。今年度の参加者は市内外から看護師希望の学生8人が参加しました。まず初めに病院の歴史・医療職の資格取得の方法などを説明し、各病棟に分かれ血圧測定や聴診器、車いす介助、手足浴などの体験をしました。



「私は手足浴が心に残りました。患者さんが『ありがとう』『可愛いね』と声を掛けてくださったので嬉しかったです。今回の体験では、今

一日助産師体験

7月25日(水)、一日助産師体験を開催し、大東高校生5人が参加しました。当院の助産師の仕事を知ってもらうため、助産師業務紹介を行い、その後新生児沐浴体験、妊婦体験などを行いました。実際に新生児室で赤ちゃんに触れ、ミルクをあげる体験を行うことができました。高校生にとって、とても貴重な体験になったと思います。



まで知れなかったことが知り、実際の体験でできるとしてみたいと思いました」と感想を述べていました。

今回の地域医療現場体験を通して、以前に比べて医療について興味を持っていただいています。これから学生たちの将来の進路選択に少しでも役に立ててもらえれば幸いです。



夏季地域医療実習

8月21日(火)から23日(木)の3日間、夏季地域医療実習で県内の大学から1年生と3年生の3人の学生を受け入れ、地域医療実習に参加しました。この期間中、松江赤十字病院から研修医1人と島根大学医学部の6年生の2人を受け入れており、医療実習に参加していました。



実習最終日には、先生や研修医、医学部の6年生から今後の学生生活のことや実習についてのアドバイスをしていただきました。



8月26日(日)、市内外の高校から看護師、理学療法士、作業療法士希望の8人が参加しセミナーを開催しました。午前中は、病院の歴史・医療職の資格取得方法などを説明し、その後、希望職種に分かれ体験を行いました。参加者からは、「看護師という仕事は患者さんのケアをしたり、つらくても大変なことが多くありますが、患者さんと交流することで笑顔や元気がもらえる良い仕事だと思いました。」「コミュニケーションが大切だと感



めて思いました。自分のことだけを話すのではなく、患者さんの話を引き出すことが治療にもつながるのだと感じました」と感想を述べていました。最後は全員でセミナー1日の振り返りを行い、今後の自身がどのように高校生活を過ごしていくのか、進路を決める上で参考となったよう良かったです。

きました。また、最終日の午後は病棟の回診を先生と一緒に診てまわりました。今回の医療実習を通して、参加した学生は最後の振り返りで、「できたこととは自信につながり、できなかったことに関してもいろいろな課題が見つかり今後の実習などに役立てていきたい」と話しており、今回の医療実習を受けた学生にとって、将来の進路を決める上で、大変良い時間だったと思います。今後も当院は研修医や学生の研修・実習を積極的に取り組んで行っていきます。



大東高校ボランティア七夕飾り付け

8月6日(月)に大東七夕祭りが行われ、それに先駆け、8月1日(水)に大東高校生が病院ボランティアに参加され、正面玄関で七夕の飾り付けを病院ボランティアの皆さんと一緒に行ってくださいました。

新本館棟が完成してから初めて七夕を飾るということで、学生さんや病院ボランティアも張り切って作業をしておられ、良い七夕飾りができました。

ボランティアに参加していただき、ありがとうございました。笹に付けた皆さんの短冊に書いた願いが叶いますように…



病院ボランティアと大東高校生



認知症対策研修会



8月27日(月)、認知症サポート委員会と、NST(栄養サポートチーム)委員会の合同主催で研修会を開催しました。

講師には岡山大学病院 精神神経科の井上真一郎先生に来ていただきました。最初に毎週定例の認知機能や栄養状態改善対策について検討する院内回診に同行いただきました。認知症の入院患者さんの多くが環境の変化で混乱して、「せん妄」という寝ぼけたような状態に陥っている可能性があります。そうした方々は、急に暴れたり、落ち着きがなくなったりするだけでなく、元気がなくなり食事が食べられなくなることも多いと学びました。

岡山大学病院のせん妄対策チーム(D-mac)の実践活動をもとに、薬剤の使用法だけでなく、ベッド周辺環境の工夫や、患者さんが積極的に体を動かすことでせん妄の予防・改善が期待できることをお教えいただきました。せん妄の改善方法を、病院スタッフだけでなく地域の皆さんにも知っていただき、そして皆で入院患者さんをサポートして元気づけることができる!と自信を深めた1日でした。



院内サロンふれ愛

10. 11. 12月の開催日(毎月第2・第4金曜日)

10月12日(金)・26日(金)

11月9日(金)

12月14日(金)

時間: 13時30分~15時30分

場所: 市立病院 中央棟2階 検診・人間ドック室

問い合わせ:

市立病院 健康管理センター
☎0854-47-7510

院内サロンとは:
病気についての不安を抱える患者さん・ご家族の交流の場であり情報交換・学習の場です。
参加費は必要ありません。どなたでも自由に参加できるサロンです。

お気軽に
お越し
ください。

新本館棟 紹介

放射線科
(1階)

地域医療 日本一をめざし 頑張ります!

放射線科は、新本館棟への移転でフロア案内図の場所へ移転しました。
今回は放射線科の紹介をします。

外来診療科から検査を受けていただくための移動が遠くなった診療科はありますが、救急外来からは近くなり救急検査には迅速に対応できるようになりました。

患者さんに検査を受ける部屋が分かりやすいように待合場所を取り囲むように検査室を配置しました。



放射線科では、新本館棟への移転に合わせほとんどの装置が新しくなりました。

導入した**乳房撮影装置**です。
当院では、マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の資格を有する女性技師が撮影しています。

従来の装置より検査時圧迫による痛みが少なくなりました。最新のフラットパネルシステムで撮影するので画像の精度が向上しました。



導入した**CT装置**は、従来に比べ撮像時間が短くなったため、息止めや安静保持が難しい患者さんでも安心して検査を受けていただいていると思います。

CTも画像の精度が向上しました。



導入した**MR I装置**は、形状が筒状からドーナツ型となり開放的になりました。よってストレスを感じることなく安心して検査を受けていただいていると思います。

また、装置の磁場強度も強くなり画像の精度が向上しました。



私たちは、これからも専門知識や技術を身につける努力を重ねながらスキルを高めていきます。そして、より良い検査を患者さんに安心して受けていただけるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

